



参加協力いただいた先生方

老蘇小学校 甲津晃弘校長／学校教育課 指導主事 上田高也先生

【中学校】

安土中 前川順子先生／八幡中 北川梨恵先生

【小学校】

岡山小 木村真由美先生／桐原東小 荒金毅先生

桐原小 林大貴先生／北里小 山田知佳先生

島小 深尾真理菜先生



12 つくる責任
つかう責任



4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナリープで
目標を達成しよう



※消費者教育は SDGs
達成の大きな力になります。

やっと気付いた。
これも消費者教育。

詳しくは、次ページより紹介しています。

表紙デザイン by 学校教育課指導主事 上田高也
消費生活センター 三浦 薫

おうみはちまんの消費者教育この1年

消費者教育とは、私たち一人ひとりの消費行動が社会に影響を与えることを理解し、日々の暮らしを通して公正で持続可能な社会づくりに主体的に関わることができるようにする教育です。例えば、「これってだれがつくったかな?」「もったいないけど、どうする?」「自分ならこれ見て何買う?それはなぜ?」など身近なところにある題材で考えます。これは世界が目標とするSDGsの達成になくてはならないものです。

今年度市では、消費者教育の理解を深め広げることが目的としてワークショップを立ち上げ、老蘇小学校の甲津校長先生を中心として先生方と一緒に様々な取組を行いました。



1.

これも消費者教育：小学校

生活

1年生 つくろうあそぼう



北里小
山田知佳先生

自分が使いたいものを考えて選ぼう!

島小
深尾真理菜先生



お客さんが安心して商品を買うことができるお店の秘密を探そう!

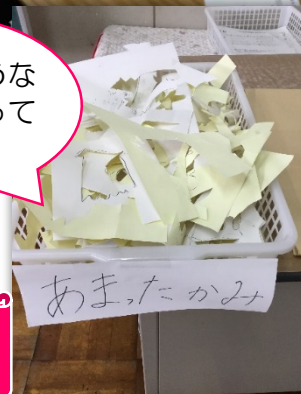


まだ使えそうな画用紙はとっておこうね

社会

3年生

店で発見(アルプラザ見学)



国語

4年生

広告と解説書を読み比べよう

広告には
どんな工夫が
あるかな？

桐原小
林 大貴 先生



桐原東小
荒金 毅 先生



どれが本当に
おとくなのかな？

算数

5年生 割合

6(め) 割合をつかって計算をしよう
<問> A, B, C, どのオムツが
1番安いでしょうか。

名前	元値	割引	値段
A	¥4600	25%	3450円
B	¥4300	15%	3655円
C	¥4500	20%	3600円

<ヒント> 割合 → 小数

計算:
A $4600 \times 0.25 = 1150$
 $4600 - 1150 = 3450$
B (式) $4300 \times 0.85 = 3655$
C (式) $4500 \times 0.8 = 3600$
(答) Aのオムツが1番安いです

荒金先生の
そのほかの
取組

裏面

家族が喜ぶ献立を考え、一品を作ろう！

わたしの献立・一品名 冷蔵庫の残り物で、

特ににんじんは火通で取れたので、

一食分の調理で扱う
加工食品の選び方、
買い方を考えて食材
を購入し調理しよう



岡山小
木村 真由美 先生

家庭

6年生

1食分の献立

紹介

消費者教育の実践シート 5年生

作成：桐原東小学校 荒金毅先生

日頃の授業を「消費者の視点」を入れて整理し、「消費者教育の実践シート」にまとめていただきました。

消費者教育を通して育むべき力★ ※姫路市学校園消費者教育指針より引用

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ①消費がもつ影響を理解する力 | ②持続可能な消費を实践する力 |
| ③他者と協働して解決に向け行動する力 | ④商品等の安全の理解と危険を回避する力 |
| ⑤トラブルに対応する力 | ⑥契約等を理解し、適切な意思決定をする力 |
| ⑦生活を設計し管理する力 | ⑧情報を収集・処理・発信する力 |
| ⑨情報社会のルールや情報モラルを理解する力 | ⑩消費生活情報に対して批判的に思考する力 |



	実施月	教科等	題材名等	★育みたい力	関連つけた教科	主な内容
1	9	社会	水産業の盛んな地域	① ②	国語	水産業の抱える課題について 漁獲量の減少や水産資源の管理について学習した。 時事的な問題を扱い、水質汚染等の被害によって漁獲量が減ることで単価があがることに気づくことができた。 問ひかけの言葉:漁獲量が減るとどんな問題が起こるの? 児童の様子:生活経験からも想像できそうな話題であったため、活発に意見を交流できた。
2	10	家庭科	調理実習	② ⑩	総合	自分たちが育てたお米をつかってお米を炊く調理実習に取り組む。 味噌汁をつくる。 問ひかけの言葉:「おいしいお米にはどのような苦勞が隠れていましたか?」 児童の様子:田植えからのことを振り返り、一つひとつの米粒にも生産者の思いがこもっていることに気づいた様子だった。
3	11	総合	情報モラル教室	⑨	社会 総合	情報モラルに関する出前講座(今回はNTTドコモ) SNSトラブルを中心に講話 問ひかけの言葉:「スマートフォンを手にしたときにあなたはどのように付き合っていきたいですか?」 児童の様子:過去にトラブルにつながりそうな事案もあったため、神妙に聞いていた。
4	11	総合	学習発表会	③ ④	家庭 社会 科	自分たちが育てたお米でおにぎりを作り、総合学習でお世話になった人たちにおきて学習発表会を行った。 問ひかけの言葉:「環境についてあなたが一番学んだことは何ですか?」 児童の様子:児童の中には、消費者教育の観点から発言する様子もみられた。
5	11	算数	単位の計算	⑩		単位量あたりの計算を用いて週末にスナック菓子のお徳サイズが本当に得なのか計算した。 問ひかけの言葉:「どちらが本当におとくなのでしょうか?」 児童の様子:1円あたりのg数を求めるのか、1gあたりの金額を算出するのか困惑する様子が見られた。
6	11	社会	産業	① ② ④		日本の工業の特徴や工業に従事する人たちの働き方について学んだ。 問ひかけの言葉:「安い商品にはどのような秘密があるのだろうか?」 児童の様子:単価を下げるために海外で作り輸入するなどの仕組みに気づく児童もいた。
7	12	社会	食料	① ② ④	総合	食料自給率について 日本の食料生産における課題 問ひかけの言葉:「あなたなら国産、外国産どちらを選びますか?」 児童の様子:どちらを消費することも正解となることに気づくことができた。

※他の先生方の「消費者教育の実践シート」も今後公開予定です。詳細は後日お知らせします。

2.

これも消費者教育：中学校

技術・家庭科（家庭分野）3年生
商品の選択と購入

飲み物の購入を、環境の視点から考えると？



理科

人間と環境

地球温暖化、水質汚染

安土中学校
前川順子先生

国語

「この小さな地球の上で」

理科

身のまわりの物質
プラスチックの区別、リサイクル

英語

「Fair Trade Event」

社会（地理）

アフリカ州、アジア州

道徳

「日本人の自覚をもち世界に貢献する」

「自分の状況にあった商品の選択」～どの商品を選びますか？～

2年4組 5番 名前

1. 商品類の価格の比較をしてみよう。

	ペットボトル	紙パック	缶	茶葉
価格	150円	100円	60円	500円
内容量	500ml	250ml	100ml	100g (200ml)
100mlあたりの価格	30円	40円	50円	10円
特徴	・よくある ・おいしい ・量が多い	・よくある ・これは本格的 ・お湯・お茶などに ・使いやすい	・ホットドリンクに ・長持ちしやすい ・リサイクルできる ・お湯・お茶などに ・使いやすい	・お湯・お茶などに ・長持ちしやすい ・リサイクルできる ・お湯・お茶などに ・使いやすい
利点	・リサイクルできる ・環境に優しい	・リサイクルできる ・環境に優しい	・リサイクルできる ・環境に優しい	・リサイクルできる ・環境に優しい

2. あなたはどれを選びますか？

(ペットボトル) を選びます。
その理由は... 種類が豊富で、たいはいどでも、捨てるから。
また、他のものより量が多い、安いから。

3. (環境) の視点からもう一度検討すると...

(ペットボトル) を選びます。
その理由は... 量は多い、たいはいどでも、捨てるから、リサイクルできるから。

4. (消費者の責任) という視点からもう一度検討すると...

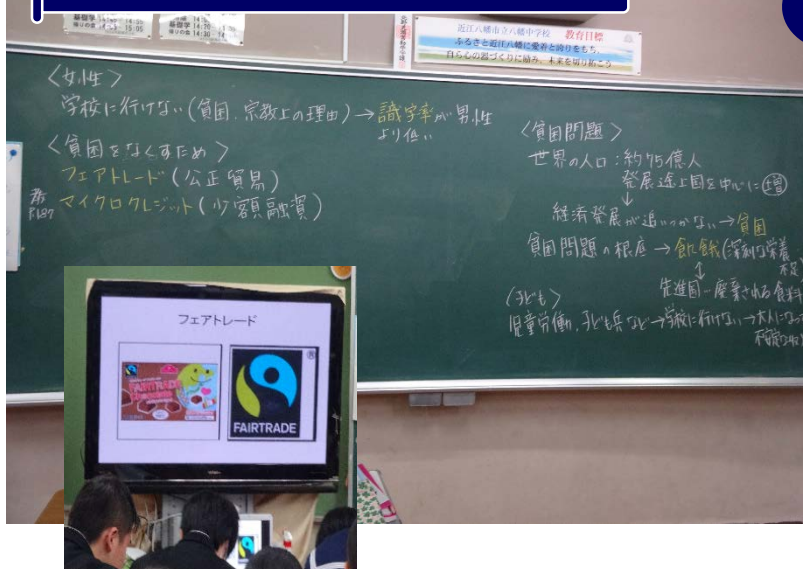
(茶葉) を選びます。
その理由は... いろいろと使い、食卓で使っても、再利用できるから。

5. 今日のキーワード

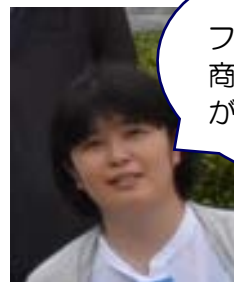
購入は「投票行為」である！ ... 持続可能な社会を実現するために、ちょっと考えて商品を選ぶ。

この2つの授業に
関連のある単元が、
こんなにありました！

社会（公民）3年生 フェアトレード



フェアトレード
商品を買うと何
が変わるかな？



八幡中学校
北川梨恵先生

3.

消費者教育フェスタ in 姫路

平成 30 年 11 月 19 日、姫路市で開催された文部科学省の消費者教育フェスタに参加しました。教育委員会が主体的に進める取組に、参加者一同たくさんの刺激を受けた 1 日でした。



公開授業を参観して

公開授業を参観する中で、子どもたちが、消費活動を軸に、自らに矢印を向け、深く考え、互いに意見を交流し合う姿が見られました。子どもたちを「市場における受け手としての消費者」から「社会へ影響力を与えられる消費者」へ、さらには、「持続可能な社会の創り手」へと育む消費者教育の力と確かな手応えを実感しました。

楠本茂樹 学校教育課長

主体的に判断する力を養うために

「これまでの授業や活動に“消費者”の視点をプラスする」という手法がとられ、指導案には、消費者教育の視点が明記されていました。この方法であれば取り組みやすい！さらには、学校で全ての子どもに消費者教育を行うことで、「自ら考え、主体的に判断し、行動する力」を養い、社会の一員として自立して生きていくことができる教育の推進を目指したい。

上田高也 学校教育課指導主事



- 4 これまでの学習を振り返り、輸入に頼る我が国の食料確保の現状や問題点について、ノートにまとめ、話し合う。
- ・食料輸入は、農薬や病気などの安全面で不安がある。
 - ・外国では、食料を輸出するために自然を破壊してしまったり、天候不良により輸出できなかったりすることがある。



必要性を実感

考え交流しあう中で学ぶ授業のモデルを見学しながら、近い将来多くの生徒が使うクレジットカードについての学習、そして広く消費者教育の必要性を強く感じました！

前川順子 安土中学校教諭



4.

先生の感想

今回のワークショップを通して、低学年でも、教師が消費者教育の視点を持って、子どもたちと関わるのが大切だと分かりました。北里小 山田知佳

家庭科では、衣食住どの領域でも消費者教育につなげられることに気付きました。教師が意識して指導することで、子どもだけでなく保護者の意識も変わるように思います。「自分の生活に即つながること」として、意識して指導したいです。岡山小 木村真由美

消費者教育と聞くと、お金や買い物のことだと考えていましたが、主体的に考え、行動することが消費者教育につながると思いました。今後は、消費者の一人として自分で考え、意思決定ができるような内容の指導を学校や家庭、地域が連携して進めていければと思います。

八幡中 北川梨恵



消費者教育の視点をほんの少しもっているだけで、発問や展開にも幅が出てくるかもしれません。

桐原東小 荒金毅

消費は、毎日必ず行うことであり、誰もが一生行うこと。自分と社会の未来につながるとても大切な行動ですね。

どの教科でも、そこに視点を置いて子どもたちに言葉をかけると、それはもう消費者教育になるのですね。

安土中学校 前川順子

情報をしっかり集めて産地や量、個数などを考慮して買い物をするという意識を高めると消費者教育になりました！

島小 深尾真理菜

簡単に情報が手に入る時代だからこそ、情報を整理し、真偽や必要性を見極め、判断していく力が必要だと感じています。消費者教育の視点を持って学習を進めることで、これらの力の育成を目指したいです。

学校教育課 上田 高也

とても勉強になりました。普段、自分が実践していることも実は消費者教育に結びついていることに気づくことができました。これからも消費者教育の視点を忘れずに日々の実践につなげていきたいと思っています。桐原小 林 大貴



今年度消費者教育推進事業に取り組んでー消費者教育の一層の充実を目指してー

老蘇小学校校長 甲津晃弘

小学校の教員や中学校の社会科・家庭科の教員がメンバーとなり、消費者教育の充実を図るための研究や実践を深めてきたことにより、小中一貫した取組のあり方を探ることができたと思っています。このように、消費者教育のフィルターを通すことで、保育園・幼稚園・こども園と小学校・中学校の接続がスムーズになるのではないかと考えています。

また、消費者教育を推進することで、保護者や地域、学校が一体となってカリキュラムを生み出すことができます。そのことは、本校で取り組んでいるコミュニティスクールが目指す「社会に開かれた教育課程」の実現につながっていると思っています。さらに、消費者教育と関連して、地域のものづくりや地産地消を学びます。これは、近江八幡市で取り組んでいる「ふるさと教育」の充実を図ることになると考えています。誰でも消費者、いつでも消費者の視点から消費者教育を一層充実させていきましょう。

消費生活センター発

第12回
「キッズデザイン賞」
奨励賞を受賞



“SDGs こども見守り隊”の取組

日頃は大人に見守られる子どもたちが、深刻な高齢者の消費者被害などをなくすため地域の高齢者の見守りの主体となる取組です。子どもたちが書いたメッセージカードを福祉協力員さんや民生委員さんたちが高齢者宅に届けてくれるなど、地域と学校が一体となり活動しました。

番外編.



安土キッズ見守り隊
安土小学校 11/26

寸劇で分かりやすく事例紹介。メンバーは全て地域のみなさんです。



安土小学校では、消費者被害のターゲットになりやすい高齢者の見守り活動の一環として、3年生が「SDGs子ども見守り隊」としての学習を行いました。寸劇でわかりやすく見守りの重要性を学んだことを活かし、地域の子どもたちが見守り活動の主体者として活躍してくれることを期待しています。

安土小学校校長 橋本正明



安土キッズ見守り隊
老蘇小学校 2/12

“きみも今日からあづち
キッズ見守り隊！”
(バッチの贈呈)



発行：2019年3月

近江八幡市消費生活センター

制作協力：近江八幡市学校教育課

制作：(公財)消費者教育支援センター